

ハクビシンの横浜市内への進出について

板橋 正憲・和田 優子・富岡 由香里・菊地 昭夫

Masanori Itabashi, Yuko Wada, Yukari Tomioka & Akio Kikuchi:
Invading Process of the Masked Palm Civet into Yokohama City

はじめに

ハクビシン (*Paguma larvata*) は食肉目ジャコウネコ科に属する中型の哺乳類である。本種は民家の屋根裏や川沿いの斜面にある樹洞などをねぐらとして夜間、採餌にでかけるが (古屋, 1967), タヌキ等に比べると生息場所に対する執着心が薄いらしく, 一晩に約 30ha の地域内を動き回って同じ採餌場所に数日続けて通うかと思うと, まだ餌が残っていても採餌場所を変えてしまう (鳥居, 1992; 古谷, 2007)。また, 本種が我が国において初めて記録された静岡県では「数年間の潜伏期を経てから, 初確認の 10 ~ 20 年後に生息密度が急速に高まったのち, その周辺に分布を拡大させる。最初に密度の高かった地域の密度はやがて低くなり, 安定した生息地となる」という過程を繰り返しながら分布域を広げた (古屋, 1973)。埼玉県 (古谷, 2007) や千葉県 (落合, 1998) でも同様の傾向がみられており, おそらく他の都府県でも同じような経過で分布域が拡大した結果, 1963 年当時の分布地は福島・宮城・長野・山梨・静岡・愛媛の 6 県に過ぎなかった (今泉, 1963) が, 2005 年には中部以北の本州各都県・大阪南部~和歌山北部・丹後・但馬~鳥取県・山口県までに広がり (米田, 2005), 一説には九州や北海道でもその姿がみられるという (鈴木, 2005; 古谷, 2007)。

神奈川県においても, 1983 年当時は相模川以西にだけ分布していた (塩沢ほか, 1984) が, 1992 年現在で相模川以東の城山町 (現・相模原市城山), 相模原市, 海老名市, 大和市, 藤沢市, 鎌倉市, 横須賀市で新たに生息が確認された (有馬ほか, 1993)。また, 横浜市旭区 (中村, 1990)・栄区 (中村, 1992) でも生息が確認された。

横浜市内の三つの動物園 (野毛山・金沢・よこはま) は神奈川県からの受託事業として野生傷病鳥獣保護事業を行っているが, 近年に受け入れたハクビシンの保護場所を集計したところ, その分布域が横浜市内に広がってゆく様子が明らかになったので, ここに報告する。

調査結果

筆者らは 1993 年 1 月 1 日から 2008 年 12 月 31 日までの間に横浜市内の 3 動物園 (野毛山・金沢・よこはま) に市民が持ち込んだ合計 184 件 (1 件で複数頭を受ける場合もあるので, 件数=頭数ではない) のハクビシンの保護場所を集計した (表 1 および表 2)。また, 表 1 を基に調査対象期間を 4 年毎に分けて, その 4 年間に保護があった区 (灰色) と過去に保護があった区 (黒色) とを地図に示したものが図 1 である。

有馬・中村らが報告した 1993 年当時は栄区・旭区以外の横浜市内にはハクビシンの生息は確認されていなかったが, 16 年を経過した現在では横浜市全域に進出している事がわかる。

また, すべての地区において幼獣や妊娠雌が含まれており, 市内全域で繁殖している可能性も伺われた。

中村 (1990) は「今後ハクビシンは横浜および川崎西部に広がるであろうし, ごく近い将来に鎌倉から三浦半島に分布は波及する」と予測しているが, この予測が現実になったことは本調査でも明らかになった。三浦半島への進出は確認できなかったが, 鎌倉市には 1995 年にはすでに入り込んでおり (有馬ほか, 1993; 表 2), 図 1 の 4 枚の分布図から推察すると, 鎌倉市に隣接する横浜市金沢・栄・戸塚区から横浜市内に進出し, さらに戸塚から港南区へと広がっていったように思われる。

横浜市北西部の状況を見ると, 町田市では 1984 年 (中村, 1990)・大和市では 1992 年 (有馬ほか, 1993) にハクビシンの生息が確認されている。1989 年に横浜市で初めて生息が確認された旭区の例 (中村, 1990) はハクビシンが鎌倉に進出する以前の出来事であり, しかも鎌倉と隣接する横浜市南部 (金沢区・栄区) から離れていることから, この時に保護された個体は町田あるいは大和から入った可能性も考えられる。横浜市旭区では 2000 年以降かなりの件数が保護されているが, それにもかかわらず, これらの分布地と隣接する瀬谷区・緑区・泉区における保護例は 2000 年代の後半から発生するという分布の広がりにおける時差がみられた。(表 1

表 1. 横浜市内で保護されたハクビシンの件数

年	平成	金沢	栄	戸塚	泉	瀬谷	磯子	港南	南	中	西	保土ヶ谷	神奈川	旭	緑	青葉	都筑	港北	鶴見	合計
1993	5																			0
1994	6																			0
1995	7	1																1		2
1996	8		1																	1
1997	9																	1		1
1998	10								1											1
1999	11	2		1				1												4
2000	12	1	1	2					2			1		2						9
2001	13	3	1					2			1	1		1			1	1		11
2002	14	2	1	2			2	1		1	1		1	1		2			1	15
2003	15	4	1					1			1			2						9
2004	16	1	1	1				2			1			5	1	1	1		1	15
2005	17			1						1				2				1		5
2006	18		2	2		1		1	2	1	1	1	2	2	1	1	2		2	21
2007	19	3		1	1			2	1	1	1	2		3	1				2	18
2008	20	1		3	1		1			1				3					1	11
合計		18	8	13	2	1	3	10	6	5	6	5	3	21	3	4	4	4	7	123

表 2. 横浜市内から保護されたハクビシンの件数

年	平成	藤沢市	逗子市	大和市	鎌倉市	相模原市	秦野市	茅ヶ崎市	川崎市	三浦市	真鶴町	県外	合計
1993	5												0
1994	6												0
1995	7	1			2								3
1996	8				2								2
1997	9				2								2
1998	10		1		1								2
1999	11	1			3								4
2000	12				5								5
2001	13			1	1				2		1		5
2002	14		1		7				2				10
2003	15			2	4				3				9
2004	16					2	1						3
2005	17							1					1
2006	18			1		1						3	5
2007	19					2			1				3
2008	20		1	1		2			1			2	7
合計		2	3	5	27	7	1	1	9	0	1	5	61

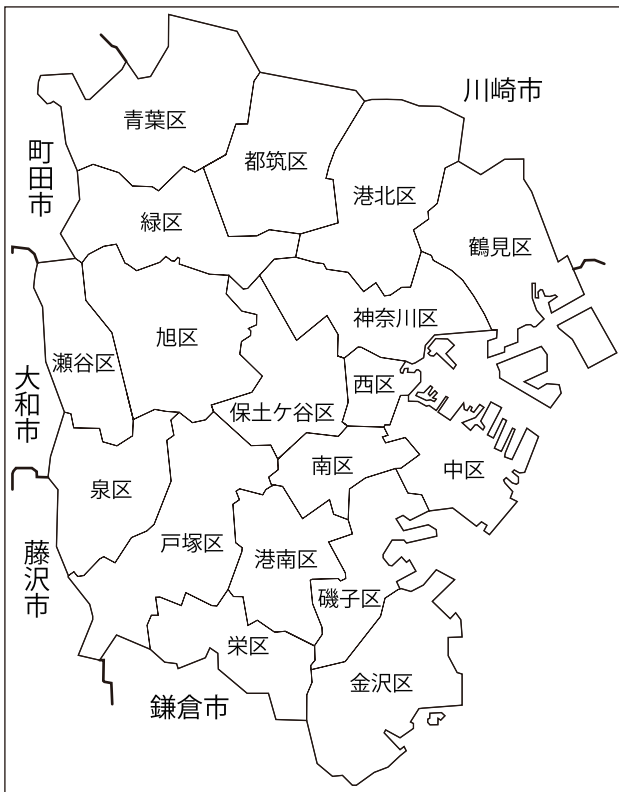
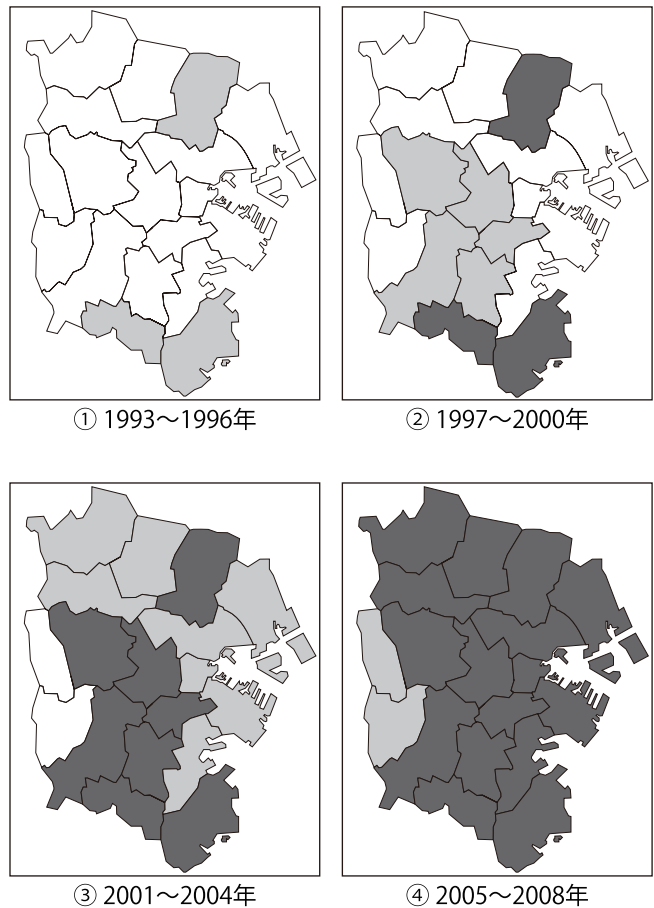


図1. ハクビシンが保護された区の変遷。調査対象期間を4年毎にわけ、その期間に保護があった区を灰色で、過去に保護があった区を黒色で示した。



および2) この時差がどのような原因によるものかについては今後、調査を進めていきたい。

本調査では横浜市立動物園に運ばれたハクビシンのみを対象にしたが、厚木市にある神奈川県立自然環境保全センターには横浜市以外に住む住民が保護した個体や、神奈川県獣医師会・横浜市獣医師会に加盟する開業獣医師が取り扱った個体のデータが蓄積されており、今後、これらのデータを加えて調査精度を高めてゆきたい。

引用文献

- 有馬征二・野口光昭・鈴木一子, 1993. 神奈川県における中型哺乳類(キツネ・タヌキ・ハクビシン)の生息状況について(3). 神奈川県立自然保護センター報告, (10): 101-114.
- 古谷益朗, 2007. 獣害勉強会ハクビシン. 東京都. Online. Available from internet: <http://www.agri.metro.tokyo.jp/sinkou-ka/tosinougyou-kakari/hakubisinnbennkyoukai2.pdf> (downloaded on 2010-01-02)
- 古屋義男, 1967. ハクビシン. 四手井綱英・川村俊蔵編, 追われるけものたち, pp.42-59. 築地書館, 東京.
- 古屋義男, 1973. 静岡県のハクビシン 1. 県内の分布. 哺乳動物学雑誌, 5(6): 199-205.
- 今泉吉典, 1963. 原色日本哺乳類図鑑. 177pp. 保育社, 大阪.
- 中村一恵, 1990. 神奈川県におけるハクビシンの生息状況(補遺). 神奈川県自然誌資料, (11): 75-78.
- 中村一恵・石原龍雄, 1992. 神奈川県におけるハクビシンの生息状況(補遺2). 神奈川県自然誌資料, (13): 1-6.
- 中村一恵・石原龍雄・坂本堅五・山口佳秀, 1989. 神奈川県におけるハクビシンの生息状況と同種の日本における由来について. 神奈川県自然誌資料, (10): 33-41.
- 落合啓二, 1998. 千葉県におけるハクビシンの分布と移入経路. 千葉市立中央博物館自然誌研究報告, 5(1): 51-54.
- 塩沢徳夫・坂本堅五・伊藤正宏, 1984. 神奈川県における中型哺乳類(キツネ・タヌキ・ハクビシン)の生息状況について. 神奈川県立自然保護センター報告, (1): 21-32.
- 鈴木欣司, 2005. ハクビシン. 鈴木欣司著, 日本外来哺乳類フィールド図鑑, pp.134-135. 旺文社, 東京.
- 鳥居春巳, 1989. ハクビシン. 鳥居春巳著, 静岡県の哺乳類, pp.113-119. 第一法規, 東京.
- 鳥居春巳, 1992. 在来種か導入種か. 動物たちの地球, (50): 9.42-9.45.
- 米田政明, 2005. ハクビシン. 財団法人自然環境研究センター編, 日本の哺乳類(改訂2版). p.90. 東海大学出版会, 東京.

板橋正憲：野毛山動物園・和田優子：金沢動物園
富岡由香里・菊地昭夫：よこはま動物園